

平成19年度 旭市水道事業会計予算の概要

1 業務の予定量

(1) 給水件数

年度中の給水増加件数を260件見込み、年度末の給水件数18,458件を予定しました。

(2) 年間給水量

年間給水量を6,085,700m³（1日平均給水量16,628m³）を予定しました。

2 収益的収入及び支出

(1) 事業収益を1,814,153千円（対前年度比10.8%増）、事業費用を1,660,708千円（対前年度比1.8%減）を予定しました。

当年度利益は、153,445千円（消費税抜きで147,688千円）が予定されます。

(2) 水道料金収入は、年間有収水量を5,720,500m³と想定し、1,525,657千円（対前年度比11.9%増）を予定しました。

(3) 受水費は、年間給水量を6,085,700m³と想定し、843,101千円（対前年度比0.8%減）を予定しました。

(4) 補助金は、高料金対策として一般会計から148,620千円、県から130,405千円を予定しました。

(5) 構築物等有形固定資産の減価償却費249,669千円、創設事業に係る企業債の支払利息を185,328千円を予定しました。

3 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入を142,173千円（対前年度比384.0%増）、資本的支出を596,647千円（対前年度比24.2%増）を予定しました。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額454,474千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,662千円及び、過年度分損益勘定留保資金448,812千円で補てんをいたします。

(2) 企業債借入額を118,000千円を予定しました。

(3) 水道加入者からの給水申込納付金収入は、21,773千円を予定しました。

(4) 建設改良費として配水区域変更に伴う配水管布設工事や、量水器の購入代等として140,728千円を予定しました。

(5) 企業債の償還元金は、453,919千円を予定しました。